ISSN 0439－1713

弘 前 大 学

教 育 学 部 紀 要

第 123 号
令和２年３月

Bulletin of the Faculty of Education Hirosaki University

No. 123
March 2020

弘 前 大 学 教 育 学 部
Hirosaki, Japan

目　　　次

石川県立図書館“川口文庫”所蔵の往来物資料……郡　千寿子（1）

教科書教材が期待する子どもの思考……田中拓郎（9）
　―小学校3年国語科説明的文章をもとにして―

廃名『莫須有先生伝』訳稿（三）……張　雪晶（19）
山田史生

演劇的な表現とリサーチを組み合わせた探究的活動の可能性……宮﨑充治（35）
　―「高校生プレゼンフェスタ」と「青森市ものがたり」の事例検討を通して―

戦後史学習のコンテンツを問う……小瑶史朗（47）
　―東アジアと「生存」の視座から―

特別活動における主権者の育成……篠塚明彦（59）
　―特別活動の歴史的変遷から考える―

教育制度の変化が学業成績に与えた影響について……黒川直樹（69）
　―TIMSS2003～2015を用いた分析―　秋葉まり子

理科・化学教科書におけるメタンハイドレートの取り扱について……杉江　瞬（79）
　―理科と化学教科書の調査―　長南幸安

音楽の創造行為における試行錯誤の理論化の試み（4）……清水　稔（83）
　―「作品」と作曲行為の関係についての考察
　～「もの」が「もの」をつくりゆく世界とはどのような意味か―

幼児向けピアノ導入教本が示す身体の使い方……宮本香織（95）

終戦後の美術鑑賞教育と少女雑誌②……出　佳奈子（107）
　―1940年代後半～1950年代の『ひまわり』における絵画鑑賞と美術教育

Pan in Japan：日本におけるスティールパンの受容と普及……冨田　晃（121）

地域文化と造形教育：稲藁を素材としたもの作りの授業……野崎克行（133）
冨田　晃

エアバブル水ならびにオゾンバブル水による各種染色絹布の退色性……安川あけみ（141）
服山桃子

WTCと外国語学習不安の相互作用によるパターン形成……野呂徳治（149）
　―3つの時間尺度による情意発達の解明―

療育アプリケーション「Timocco」使用時に観察された……増田貴人（159）
　発達性協調運動症幼児の動作の特徴

非喫煙大学生における喫煙者やたばこに対し抱く嫌悪意識……近藤有紀（165）
葛西敦子

エビデンスに基づく教育の要求との民主的対話……桐村豪文（175）
　―社会の進化にエビデンスは必要か？―

弘前大学教育学部紀要刊行及び投稿規定

弘前大学教育学部　研究推進委員会　紀要編集担当

1．本紀要は本学部で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
2．発行は原則として各年度の10月及び3月の年２回とし、各号はＡ４版で約150ページとする。
3．原稿の締切は概ね7月下旬及び１月上旬とする。
4．論文の著者には本学部または教職大学院の教員が含まれていなければならない。
5．論文の本文は横書きの和文又は英文を原則とする。
6．各論文の長さは図表等を含めて刷り上がり10ページ以内とする。なお、印字の大きさは9ポイント活字相当とし、1印刷ページは和文で1行24字、45行の2段組で2,160字とする。英文等の場合は1段組とする。
7．原稿の作成に際しては所定の執筆要領（別掲）に従うものとする。
8．搭載順序など、編集に関することは本委員会紀要編集担当が決定する。なお、論文の内容等について疑義が生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば訂正等を求める。
9．原稿の受理後における内容の変更等は認めない。
10. 校正は原則として著者が行い、2校までとする。
11. 論文が10ページを超える場合や、カラー印刷や図版の作製などに特別の経費を要する場合は、その経費は原則として著者負担とする。
12. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とすることがある。
13. 別刷を希望する場合は、投稿の際に必要部数を申し出る。経費は著者負担とする。
14. 本紀要に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、本委員会は掲載された論文を電子化し、「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開することができるものとする。

この規定は，平成30年4月から施行する。

弘前大学教育学部紀要執筆要領

1．原稿は、手書きの場合字数が明確になるよう原稿用紙に記載する。また、タイプライターやワードプロセッサー等を用いる場合にはA4版の用紙に印字する。なお、パソコン等による原稿には、使用したハードウェア及びソフトウェアを明記したUSBメモリ，CD-R等を添付することが望ましい。
2．原稿には論文題名、著者名及び所属が和英両語で記載されていなければならない。なお、英語に変えて、他の汎用性の高い言語を用いてもよい。
3．本文の前には同一の言語による要旨（Abstract）及び、キーワードを置く。要旨は和文の場合には400字以内、英文の場合には120語以内とする。なお、更に別の言語による要旨をおいてもよい。キーワードは数語以内とする。
4．文献の引用は原則として本文中の該当個所の右肩に片括弧付きの番号で表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の題名、掲載誌名、巻・号、ページ、発行年を、また単行本の場合は著者名、書名、出版社名、ページ、発行年を記載することを原則とする。
5．印刷に当たって指定したい事項（字体、下線、図表の挿入個所など）は原稿内に朱書するなどして明示する。
6．図表（写真、楽譜含む）はなるべく少数にとどめ、本文原稿中に挿入することは避け、原則として一つずつA4版程度の白色台紙に貼り添付する。なお、図表の表題、指定事項等は台紙の端に記載する。また、図表は直接製版できるよう明確なものとし、図中に文字などを写植する必要がある場合には明確に指示する。
7．原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を添付し、本委員会紀要担当者に確認を受ける。

研究推進委員会 紀要編集担当

山　田　史　生
島　田　　　透
出　　　佳奈子
田　中　　　完

弘　前　大　学
教　育　学　部　紀　要
第123号
（2020年３月）

令和２年３月26日印刷
令和２年３月31日発行
編集兼発行者
弘 前 大 学 教 育 学 部
弘前市文京町１番地
電話（0172）36－２１１１㈹
印刷所　小　野　印　刷
弘前市富田町52
電話（0172）32－７４７１㈹

CONTENTS

Investigation report on"OURAIMONO"documents .... Chizuko KOHRI (1)
of Ishikawa Prefectural Library possession:
Survey of bibliographies in the Dr.Kawaguchi's collection of books

The expected way of thinking observed in authorized textbooks .... Takuo TANAKA (9)
:based on the expository texts for third grade Japanese students

Fei Ming's Moxuyouxiansheng zhuan : A Transportation (3) .... Xuejing ZHANG (19)
Fumio YAMADA

Possibility of the discovery-oriented learning that combined .... Michiharu MIYAZAKI (35)
a research with dramatic expression
-Case studies of "KOKOSEI Presentation Festa"&"Aomori-shi Monogatari"

A Critical Study on Learning Contents of Contemporary .... Fumiaki KODAMA (47)
Japanese History :From the Viewpoint of East Asia and Life

Sovereign training in Special Activities .... Akihiko SHINOZUKA (59)
:Focusing on Historical changes in Special Activities

The effect of changes in the educational system on academic .... Naoki KUROKAWA (69)
achievement: An Analysis of TIMSS2003～2015 Mariko AKIBA

Investigation into the Description about "Methane Hydrate" .... Shun SUGIE (79)
in Textbooks for "Science" and "Chemistry" Yukiyasu CHOUNAN

Re-considering the concept of trial and error for creative music-making: ...... Minoru SHIMIZU (83)
A philosophical study of the relationship between perceptions
of musical works and generation of music

How to use the body shown in the piano instruction textbooks .... Kaori MIYAMOTO (95)
for young children

The education through appreciating of works of the fine arts .... Kanako IDE (107)
and the girl's magazine after the world war II ②
— The appreciation of paintings and the art education
in the Himawari from the second half of 1940's to 1950's

Pan in Japan: The Acceptance and Diffusion of Steelpan in Japan .... Akira TOMITA (121)

Regional Culture and Art Education: Craft Class Using Rice Straw .... Katsuyuki NOZAKI (133)
Akira TOMITA

Discoloration of Various Dyed Silk Fabrics by Immersion into .... Akemi YASUKAWA (141)
Water Containing Fine Bubbles of Air or Ozone Momoko FUKUYAMA

Interactive Patterning of L2 Willingness to Communicate .... Tokuji NORO (149)
and Foreign Language Anxiety
: The Three Time Scales to Examine Emotional Development

Characteristics of movement of young children with developmental .... Takahito MASUDA (159)
coordination disorder observed when using the application "Timocco"

A Study of Non-Smoking College Students' Antipathies toward .... Yuki KONDO (165)
Smokers and Tobacco Atsuko KASAI

Democratic dialogue with the demands of Evidence-Based Education: ... Takafumi KIRIMURA (175)
Do we need evidence for social evolution?